

平成 21 年 度

男鹿市財政援助団体等監査結果報告書

男 鹿 市 監 査 委 員

監 第 27 号
平成21年8月24日

男 鹿 市 長 渡 部 幸 男
男鹿市議会議長 船 木 茂 様
男鹿市教育委員会委員長 目 黒 恵 子

男鹿市監査委員 湊 忠 雄

男鹿市監査委員 吉 田 清 孝

財政援助団体等監査の結果について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、平成21年度の財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

目 次

I 監査の対象団体と執行年月日	1
II 監査の着眼点	2
III 監査の方法	2
IV 監査の結果	2
(監査対象団体)	
・ 男鹿市納税貯蓄組合連合会	3
・ 男鹿地区農業用使用済プラスチック等適正処理協議会	4
・ 八郎湖増殖漁業協同組合	5
・ 中学生海外研修運営委員会	6
・ 男鹿市社会福祉協議会	7
・ 社会福祉法人 男鹿更正会	8
・ 男鹿地区交通安全協会	9
・ 男鹿少林寺拳法スポーツ少年団	10
・ 男鹿市連合婦人会	11
・ 男鹿市民文化祭実行委員会	12
・ (社) 男鹿市観光協会	13
・ 韓国ドラマ「アイリス」男鹿ロケ誘致支援委員会	14
・ なまはげふるさとじまん市実行委員会	15
(指定管理施設)	
・ 男鹿市若美老人福祉センター	16
・ 男鹿市北部在宅介護支援センター	17
・ 男鹿市勤労青少年ホーム	18

I 監査の対象団体と執行年月日

平成21年度の財政援助団体等監査については、平成20年度に市が財政的援助を与えた団体（財政援助団体）の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

財政援助団体名	補助金の名称	交付額（円）	所管課所名	執行年月日
男鹿市納税貯蓄組合連合会	男鹿市納税貯蓄組合連合会補助金	129,480	税務課	平成21年 7月2日
男鹿地区農業用使用済プラスチック等適正処理協議会	農業用使用済プラスチック処理費等補助金	757,632	農林水産課	
八郎湖増殖漁業協同組合	栽培漁業定着促進事業費補助金（ワカサギ卵放流）	243,000	農林水産課	
中学生海外研修運営委員会	中学生海外研修派遣費補助金	2,160,000	学校教育課	
男鹿市社会福祉協議会	社協活動専門員補助金	2,485,000	福祉事務所	
社会福祉法人男鹿更生会	知的障害者援護施設大規模修繕事業補助金	3,342,000	福祉事務所	
男鹿地区交通安全協会	男鹿地区交通安全協会補助金	240,000	環境防災課	平成21年 7月6日
男鹿少林寺拳法スポーツ少年団	スポーツ少年団全国大会出場補助金	1,205,174	スポーツ振興課	
男鹿市連合婦人会	男鹿市連合婦人会活動費補助金	327,000	生涯学習課	
男鹿市民文化祭実行委員会	男鹿市民文化祭補助金	1,700,000	生涯学習課	
(社)男鹿市観光協会	(社)男鹿市観光協会補助金	2,698,000	観光商工課	
韓国ドラマ「アイリス」男鹿ロケ誘致支援委員会	韓国ドラマ「アイリス」男鹿ロケ誘致支援委員会補助金	1,500,000	観光商工課	
なまはげふるさとじまん市実行委員会	なまはげふるさとじまん市補助金	1,277,429	観光商工課	

平成20年度に市が指定管理を行わせた団体の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

指定管理団体	指定管理の名称	指定管理料（円）	所管課所名	執行年月日
(社)男鹿市社会福祉協議会	男鹿市若美老人福祉センターの管理	1,900,000	福祉事務所	平成21年 7月2日
(社)男鹿市社会福祉協議会	男鹿市北部在宅介護支援センターの管理	1,232,000	福祉事務所	
(社)男鹿市シルバー人材センター	男鹿市勤労青少年ホームの管理	5,400,418	観光商工課	平成21年 7月6日

II 監査の着眼点

当該財政援助等に係る出納その他の事務の執行状況について、次の点に主眼をおいて実施した。

(補助金関係)

- ① 財政援助団体及び所管する各課の補助金交付手続が条例、規則、要綱等に基づき適正に行われているか。
- ② 補助金は交付目的に沿って適正に執行されているか。
- ③ 補助金に係る会計処理は適正であるか。
- ④ 会計処理上の責任体制は明確か。

(指定管理関係)

- ① 指定管理者及び所管する各課の協定手続が条例、規則、要綱等に基づき適正に行われているか。
- ② 指定管理業務に係る会計処理及び施設管理は適正であるか。
- ③ 施設の利用状況について。

III 監査の方法

監査は所管課にあらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、監査委員事務局において補助金については交付決定に関する原議書類、実績報告書及び決算書の関係書類、また指定管理者については協定に関する書類、事業報告、及び決算に関する書類を監査するとともに、担当職員の説明を聴取した。

IV 監査の結果

補助金・指定管理料は、総括的にその目的に沿って管理、執行されており、出納その他の事務は概ね適正に処理されているものと認められた。

以下、財政援助団体、指定管理者ごとの監査内容は次のとおりである。

男鹿市納税貯蓄組合連合会

1 補助金等の名称

男鹿市納税貯蓄組合連合会補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	129,480 円
財 源 (一般財源)	129,480 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市納税貯蓄組合連合会補助金に関する規程

4 補助金等の交付目的

納税成績の向上を推進することを目的に組織された納税貯蓄組合連合会の健全な発達を図る。

5 事業概要と効果

年一回の総会開催、役員会の随時開催のほか、組合長研修会を開催し、納期内納付指導を行うことにより、税の納期内及び年度内納付が確保された。

平成20年度実績

一般税 272,282,480 円

保険税 204,729,050 円

年度内納付率 95.5%

6 事業収入、支出の状況

収 入	580,924 円 (市補助金の比率 22.3%)
支 出	473,937 円
差 引	106,987 円

7 所 見

各納税貯蓄組合の組合員に対する納付指導等により、税収確保に努めており、補助目的は概ね果たされているものと推量します。

しかし、口座振替の不落があるようなので、各組合に対して適切な指導をするとともに、なお一層口座振替の推奨に努めるよう要望しました。

男鹿地区農業用使用済プラスチック等適正処理協議会

1 補助金等の名称

農業用使用済プラスチック処理費等補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	757,632 円
財 源 (一般財源)	757,632 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市農林水産関係補助金等交付要綱

4 補助金等の交付目的

農業用使用済プラスチック、ビニールの登録失効や期限切れ農薬の適正な処理を実施し、不法投棄などの防止に努める。

5 事業概要と効果

使用済みプラスチック 148,282 kg、期限切れ農薬等 686 kgを適正に処理したことにより、不法投棄の減少及び公害の未然防止さらには農業の健全な発展と地域社会の環境浄化が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,384,588 円	(市補助金の比率 31.8%)
支 出	2,384,588 円	
差 引	0 円	

7 所 見

農業用廃プラスチック等は産業廃棄物として処理されるものであり、農業の環境浄化、公害及び不法投棄の未然防止という補助目的は概ね果たされたものと推量されますが、これらの物は事業者の自己責任で行うべきものと考えますので、今後は段階的に減らす方向で検討するよう要望しました。

八郎湖増殖漁業協同組合

1 補助金等の名称

栽培漁業定着促進事業費補助金(ワカサギ卵放流)

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	243,000 円
財 源 (一般財源)	243,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市農林水産関係補助金等交付要綱

4 補助金の交付目的

栽培漁業の定着化を促進するため、育成放流を実施し資源の維持を図る。

5 事業概要と効果

八郎湖調整池、東部承水路、西部承水路にワカサギ卵 33,560 万粒を放流したことにより、資源が維持され、生産量の増加につながった。

6 事業収入、支出の状況

収 入	3,511,738 円 (市補助金の比率 6.9%)
支 出	3,511,738 円
差 引	0 円

7 所 見

漁業資源保護のため、つくり育てる漁業は必要不可欠であり、ワカサギの水揚げも年々微量ながらも増加傾向にあることから、補助の目的は概ね達成されているものと推量します。

しかし、男鹿市漁業者の全体の水揚げの把握はされているものの、会員個人の把握がされていないことから、税収確保のためにも、今後調査するよう要望しました。

中学生海外研修運営委員会

1 補助金等の名称

中学生海外研修派遣費補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	2,160,000 円
財 源 (一般財源)	2,160,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

本市の中学生を諸外国に派遣することにより、オーストラリアの生活文化と日本との違いについて学び、国際理解と協調の精神を培うことを目的とする。

5 事業概要と効果

実施年月日 平成21年3月23日～3月30日

研 修 先 オーストラリア シドニー ホームスティ4泊

研 修 員 中学生2年生 8名

外国の社会や自然、人々と触れ合うことを通して異文化から学んだ経験が、将来ふるさとのために貢献しようとする心情をはぐくむ契機となった。

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,772,800 円 (市補助金の比率 77.9%)
支 出	2,772,800 円
差 引	0 円

7 所 見

異国の地において、日本語が通じない状況の中で、これまでの学習で身につけた知識を思う存分出し、英語での生活を体験したことは、確かな自信につながったものと思います。また、他国の生活環境や文化の違いを学んだことで、それぞれの国の良さを確認できたものと思います。

今後は、予算の範囲内で創意工夫して、オーストラリアだけでなく色々な国の人と海外研修ができるよう要望しました。

男 鹿 市 社 会 福 祉 協 議 会

1 補助金等の名称

社協活動専門員補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	2,485,000 円
財 源 (一般財源)	2,485,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市社会福祉補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

社会福祉活動専門員設置要綱に基づき、設置された社会福祉活動専門員は社会福祉主事の資格を有し、市の区域における民間社会福祉活動の推進方策についての調査、企画立案を行うほか広報、指導その他の実践活動に従事するもので、市が人件費を補助して社会福祉の増進を図る。

5 事業概要と効果

市の地域福祉に関する年齢別人口調査や市民意識調査、高齢者実態調査等を行い、災害時の要援護者支援計画の作成やサービス利用援助を実施し、地域福祉の向上が図られた。

一人暮らし高齢者 1,171 名 寝たきり高齢者 33 名
サービス利用援助 4 月から 10 月(毎月 1 回) 相談件数 40 件

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,485,000 円 (市補助金の比率 100.0%)
支 出	2,485,000 円
差 引	0 円

7 所 見

近年、少子高齢化により、社会的援助を必要とする人が増えている状況である。このような人がそれぞれの地域において安心して暮らすことができるよう、市、消防署、民生児童委員などと連携して、地域ごとの一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者等の把握に努め、災害時の要援護者支援計画の作成や権利擁護事業としてのサービス利用援助等を実施しており、補助目的は概ね達成されているものと推量します。

社会福祉法人 男鹿更正会

1 補助金の名称

知的障害者援護施設大規模修繕事業補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	3,342,000 円
財 源 (一般財源)	3,342,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

社会福祉法人の助成に関する条例施行規則

4 補助金等の交付目的

施設入所者や在宅利用者が施設の大規模修繕によって、安全で安心な生活活動の場の確保を図る。

5 事業概要と効果

大規模修繕事業費

主体工事費 34,755,000 円

設計監理費 903,000 円

合 計 35,658,000 円

施設の大規模修繕により、施設入所者などが安全で安心して生活できる環境が整備され、円滑な施設生活ができた。

6 事業収入、支出の状況

収 入 35,658,000 円 (市補助金の比率 9.3%)

支 出 35,658,000 円

差 引 0 円

7 所 見

27年経過した老朽施設を大規模修繕し、入所者及び在宅利用者が安全で安心な施設生活を送ることができたことから、補助目的は果たされたものと推量します。

男鹿地区交通安全協会

1 補助金の名称

男鹿地区交通安全協会補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	240,000 円
財 源 (一般財源)	240,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

団体等に対する補助金交付要綱

4 補助金等の交付目的

市民の交通秩序の確立と交通安全を促進する。

5 事業概要と効果

- ・ 春、夏、秋、年末等の季別の全国交通安全運動の展開
- ・ 交通安全市民の集いの開催
- ・ 交通安全パトロール
- ・ 高齢者や幼児に対する交通安全教室

交通安全の各種行事を開催し、市民に対し啓蒙活動することにより、市内における交通事故の減少に寄与した。

6 事業収入、支出の状況

収 入	12,718,225 円	(市補助金の比率 1.9%)
支 出	11,668,905 円	
差 引	1,049,320 円	

7 所 見

交通事故のない安全で快適な社会づくりのため、交通安全についての広報や啓発活動、交通マナー向上のための交通安全教室開催など各種事業を開催し、交通安全思想の高揚が図られたものと推量します。

しかし、事業の中には小学校交通安全弁論大会や男鹿市交通安全市民大会など行政が主として実施している事業もあることから、今後は役割分担を明確にするとともに補助額の見直しを含め検討するよう要望しました。

男鹿少林寺拳法スポーツ少年団

1 補助金の名称

スポーツ少年団全国大会出場補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	1,205,174 円
財 源 (一般財源)	1,205,174 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金等の交付目的

男鹿少林寺拳法スポーツ少年団の選手保護者の経済的負担の軽減を図る。

5 事業概要と効果

「2008年少林寺拳法全国大会 in おかやま」が2008年11月2日に岡山県体育館で開催され、監督ほか18名が出場し、(小学生の部、団体演武B班出場組21組中 第3位)(中学生発表の部、B班出場組22組中 第7位)(中学生の部、団体演武A班出場組19組中 第8位)の好成績を修めた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,792,094 円	(市補助金の比率 43.2%)
支 出	2,792,094 円	
差 引	0 円	

7 所 見

今回の少林寺拳法全国大会は岡山県ということで、かかった経費も大きかったが、補助により保護者の負担軽減が図られ、補助の目的は果たされたものと推量します。

本大会では、強豪がたくさんいる中で自分のもてる力を十分発揮し、好成績を修めたことは選手自ら確かな自信につながったものと思います。

今後も、日々練習を重ね、心技両面にわたり成長することを期待します。

男 鹿 市 連 合 婦 人 会

1 補助金の名称

男鹿市連合婦人会活動費補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	327,000 円
財 源 (一般財源)	327,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金等の交付目的

あたたかい心の通い合う住みよい地域づくりのために活動する連合婦人会の振興を図る。

5 事業概要と効果

- ・ 平成 20 年度男鹿市連合婦人会総会の開催
- ・ 第 54 回男鹿市婦人大会
- ・ 料理講習会の開催

婦人大会の開催や中央女性学級などへの参加により、会員相互の関係を密にした交流、親睦が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	858,877 円	(市補助金の比率 38.1%)
支 出	729,934 円	
差 引	128,943 円	

7 所 見

男鹿市婦人大会の開催や各種イベントへの積極的な参加、また地域安全市民大会をはじめ各地区の敬老会、文化祭へ協力するなど地域貢献もしており、補助目的は概ね果たされたものと推量します。

しかし、20 年度決算残高が多く発生していることから、より活発な活動を推進するよう要望しました。

男鹿市民文化祭実行委員会

1 補助金の名称

男鹿市民文化祭補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	1,700,000 円
財 源 (一般財源)	1,700,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金等の交付目的

市民芸術団体や生涯学習グループが発表を通して、交流・交歓を図り、本市の芸術文化のレベル向上を図る。

5 事業概要と効果

- ・ 展示部門、舞台発表
- ・ 第4回児童生徒発明工夫展
- ・ 第29回小・中学校音楽祭
- ・ 第35回児童生徒文学祭
- ・ 第38回市民短歌大会
- ・ 茶 道 裏千家 遠州流

展示や発表に加え、市民体験学習などを開催し、多くの市民や団体グループ等の体験や発表の場として交流を深め、芸術文化の発展に寄与した。

6 事業収入、支出の状況

収 入	1,701,117 円	(市補助金の比率 99.9%)
支 出	1,700,152 円	
差 引	965 円	

7 所 見

市民芸術団体、生涯学習グループによる展示・舞台発表や小中学校音楽祭、市民短歌大会、児童生徒文学祭などの開催により、市民に芸術文化の鑑賞の機会を与え、交流・交歓が図られたことから、補助目的は達成されたものと推量します。

今後も、本市の芸術文化向上のため研鑽を重ねるよう望みます。

(社) 男鹿市観光協会

1 補助金の名称

(社)男鹿市観光協会補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	2,698,000 円
財 源 (一般財源)	2,698,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市産業建設部観光商工課補助金交付要綱

4 補助金等の交付目的

本市の観光振興推進のために、最も重要な観光誘客宣伝に係る各種事業を実施するため、事業を連携して行う当該団体の強化を図る。

5 事業概要と効果

観光誘客のための各種会議・懇談会の開催や要望・陳情、誘客宣伝活動及び関係機関との連絡調整等を実施し、受入れ対策等の態勢を強化して観光振興を図った。

6 事業収入、支出の状況

収 入	41,832,821 円	(市補助金の比率 6.4 %)
支 出	41,750,777 円	
差 引	82,044 円	

7 所 見

協会会員と一体となった観光誘客宣伝等により男鹿市の観光振興が図られたものと推量します。また、新たに子育てなまはげ宿泊ツアーを開催し、滞在型観光を推進するなど誘客促進に努めたことから、補助目的は概ね達成されたものと推量します。

不況による景気低迷により旅行需要が冷え込む中、連泊客やリピーター客を獲得することは大変であるが、男鹿半島の魅力の一つでもある西海岸線一帯の観光活性化にも力を注ぎ、効果が得られるよう要望しました。

韓国ドラマ「アイリス」男鹿ロケ誘致支援委員会

1 補助金の名称

韓国ドラマ「アイリス」男鹿ロケ誘致支援委員会補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	1,500,000 円
財 源 (一般財源)	1,500,000 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市産業建設部観光商工課補助金交付要綱

4 補助金等の交付目的

秋田県や県内企業が中心となって誘致し支援を行っている、韓国ドラマ「アイリス」のロケを男鹿へ誘致し、このドラマを通じて広く国内外に男鹿の魅力を紹介・宣伝する。

5 事業概要と効果

寒風山、男鹿水族館 GA0、ホテルきららか周辺及びホテル帝水において男鹿ロケを実施するにあたり、出演者及びスタッフへの宿泊費や食事代等の補助を行うことにより、ロケ現場へ観光客を誘客することができた。また、今後ドラマが放映されることで、国内外に男鹿を紹介・宣伝することができる。

6 事業収入、支出の状況

収 入	1,600,023 円	(市補助金の比率 93.7%)
支 出	1,600,023 円	
差 引	0 円	

7 所 見

ロケの時は、県内外から観光客が訪れ宿泊客の増加につながった。また、今後は、なまはげ館と五風に展示を予定している主役イ・ビョンホンが着た、なまはげの衣装を起爆剤に観光客の増加が見込まれることから補助目的は果たされたものと推量します。

今後も、情報収集に努め、このような機会を逃さないよう要望しました。

なまはげふるさとじまん市実行委員会

1 補助金の名称

なまはげふるさとじまん市補助金

2 補助金等の交付額及び財源

交 付 額	1,277,429 円
財 源 (一般財源)	1,277,429 円

3 補助金等交付根拠条例等

男鹿市産業建設部観光商工課補助金交付要綱

4 補助金等の交付目的

市内の農林水産業者などが物産品等を一堂に展示販売して、市内外に広くPRすることにより、地場産品の需要拡大と地域産業の振興発展を図る。

5 事業概要と効果

J A加工事業部と地元事業者等 22 店舗が出店し、地場産品加工物、だまこもち、うどん、お菓子等を販売し、4,600 千円の売り上げがあった。

6 事業収入、支出の状況

収 入	1,277,429 円	(市補助金の比率 100.0%)
支 出	1,277,429 円	
差 引	0 円	

7 所 見

市内の農林水産業者等が地場産品加工物等を販売して、広く市内外にPRするとともに、男鹿海洋高校生が製造したハタハタかまぼこ、さば缶詰の販売やフリーマーケット、ヤートセ踊りも行われるなど、多くの来客と売り上げがあったことから、補助目的は果たされたものと推量します。

今後は、年1回の開催にとどまらず、帰省者や観光客が多くいるお盆時期に趣向を凝らしたじまん市を開催し、地域活性化につなげるよう要望しました。

男鹿市若美老人福祉センター

(指 定 管 理 者)

1 根拠条例

男鹿市若美老人福祉センター条例

2 指定管理料

金 額	1,900,000 円
財 源	一 般 財 源

3 管理に関する協定等

男鹿市若美老人福祉センターの管理に関する協定書

男鹿市若美老人福祉センターの管理に関する年度協定書

4 管理の対象業務

- (1) センターの使用の許可及び使用の制限等
- (2) センターの施設及び設備の維持管理

5 利用料金

無 料 ただし、目的以外（冠婚葬祭）の用途により使用した場合は有料とする。 男鹿市若美老人福祉センター条例による。

6 事業の概要

施設を適正かつ円滑に管理した。

- ・ センター利用回数 274回
- ・ センター利用人数 3,377人

7 事業の収入と支出の状況

収 入	1,900,000 円	支 出	1,900,000 円
差 引	0 円		

8 所 見

施設の設置目的である老人福祉の増進を図るため、適切かつ円滑に管理されていると推量します。

男鹿市北部在宅介護支援センター

(指 定 管 理 者)

1 根拠条例

男鹿市在宅介護支援センター条例

2 指定管理料

金 額	1,232,000 円
財 源	一 般 財 源

3 管理に関する協定等

男鹿市北部在宅介護支援センターの管理に関する基本協定書
男鹿市北部在宅介護支援センターの管理に関する年度協定書

4 管理の対象業務

- (1) 支援センターの使用の許可及び使用の制限等
- (2) 支援センターの施設及び設備の維持管理

5 利用料金

無 料

6 事業の概要

1. 要援護老人等の実態把握に関すること。
2. 保健福祉サービスの利用情報の提供と啓発に関すること。
3. 在宅介護についての総合的な相談及び指導、助言に関すること。
4. 介護機器の展示並びに使用方法の相談及び助言に関すること。

7 事業の収入と支出の状況

収 入	1,232,000 円	支 出	1,232,000 円
差 引	0 円		

8 所 見

在宅で介護を必要とする高齢者や介護者等に対し、在宅介護に関する各種保健や福祉サービスなどが受けられるよう関係機関との連絡調整や相談に応じるなど、福祉の向上が図られ、適正な管理がされているものと推量します。

男鹿市勤労青少年ホーム

(指 定 管 理 者)

1 根拠条例

男鹿市勤労青少年ホーム条例

2 指定管理料

金 額	5,400,418 円
財 源	一 般 財 源

3 管理に関する協定等

男鹿市勤労青少年ホームの管理に関する基本協定書
男鹿市勤労青少年ホームの管理に関する年度協定書

4 管理の対象業務

- (1) ホームの使用の許可及び使用の制限等
- (2) ホームの施設及び設備の維持管理

5 利用料金 無 料

6 事業の概要

施設を適正かつ円滑に管理した。

・なまはげ剣道	70回	1,122人	・ラグビー(少)	21回	491人
・民謡舞教室	120回	1,864人	・サッカー(少)	78回	1,025人
・囲碁クラブ	192回	1,132人	・オカリナ	29回	289人
・少林寺拳法	28回	630人	・パソコン	151回	507人
・民謡同好会	6回	27人	・スポーツダンス等		2,741人
					合 計 9,828人

7 事業の収入と支出の状況

収 入	5,400,418 円	支 出	5,400,418 円
差 引	0 円		

8 所 見

勤労青少年の健康な育成を図るため、レクリエーションやクラブ活動の場の提供と教養向上のためのパソコン講習会等の自主事業を行っているが、本来の目的が満たされているか、任せるだけになってはいないか常時検証するよう要望しました。